

注3

大学番号：私142

[平成27年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

金沢学院大学 文学部 文学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人金沢学院大学
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 企画参事 中西 勤

電話番号 076-229-8817

（夜間） 076-229-1181

F A X 076-229-1385

e-mail kikaku@kanazawa-gu.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

文学部

<文学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	15
6. 留意事項等に対する履行状況等	28
7. その他全般的事項	30

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人 金沢学院大学

(2) 大 学 名

金沢学院大学

(3) 大学の位置

〒920-1392
石川県金沢市末町10の5番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	トビタ ヒデカズ 飛 田 秀 一 (平成13年1月)	アキヤマ ミノル 秋 山 稔 (平成29年1月)	平成29年1月18日付で 理事長任期満了により変更 (29)
		タカザワ モトイ 高 澤 基 (平成28年4月)	平成28年3月31日付で 理事長が辞任し変更 (28)
学 長	アキヤマ ミノル 秋 山 稔 (平成25年4月)		
学 部 長	スイドウ ユキオ 水 洞 幸 夫 (平成25年4月)		
学科長等	(スイドウ ユキオ) 水 洞 幸 夫 (平成27年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。
(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)
平成29年度に報告する内容 → (29)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
文学部 文学科 学士(文学)	文学関係	4 年	130 人	3 年次 人 10 =20=	人 540 =560=	平成29年度より編入学定員10人(10人をスポーツ健康学科へ振替) H28.8收容定員変更変更認可済

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区 分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 130 () []	人 — () []	人 130 () []	人 — () []	人 130 (10) []	人 — () []	人 — () []	人 — () []	1.14 倍	
志願者数	406 () []	— () []	439 () []	— () []	524 () []	— () []	— () []	— () []		
受験者数	404 () []	— () []	435 () []	— () []	520 () []	— () []	— () []	— () []		
合格者数	367 () []	— () []	381 () []	— () []	406 () []	— () []	— () []	— () []		
B 入学者数	138 () []	— () []	143 () []	— () []	167 () []	— () []	— () []	— () []		
入学定員超過率 B/A	1.06		1.10		1.28		—			

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度	平成 2 7 年度		平成 2 8 年度		平成 2 9 年度		平成 3 0 年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次		[ー] (ー) 138	[ー] (ー) ー	[ー] (ー) 143	[ー] (ー) ー	[ー] (ー) 166	[ー] (ー) ー	[ー] (ー) ー	[ー] (ー) ー	
2 年次				[ー] (ー) 137	[ー] (ー) ー	[ー] (ー) 140	[ー] (ー) ー	[ー] (ー) ー	[ー] (ー) ー	
3 年次						[ー] (ー) 135	[ー] (ー) ー	[ー] (ー) ー	[ー] (ー) ー	[ー] (ー) ー
4 年次										[ー] (ー) ー
計				[ー] (ー) 138	[ー] (ー) 280					[ー] (ー) 441

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成27年度 入学者	138 人	3 人	平成27年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学(1)	2.17 %
			平成28年度	2 人	0 人	心身に関する事情(2)	
			平成29年度	— 人	— 人		
			平成30年度	— 人	— 人		
平成28年度 入学者	143 人	3 人	平成28年度	3 人	0 人	就学意欲の低下(1), 他の教育機関への入学(1), 心身に関する事情(1)	2.09 %
			平成29年度	— 人	— 人		
			平成30年度	— 人	— 人		
平成29年度 入学者	167 人	1 人	平成29年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学(1)	0.59 %
			平成30年度	— 人	— 人		
平成30年度 入学者	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人		— %
合 計	448 人	7 人					1.56 %

(注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<文学部 文学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単 位 数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
教 養 科 目	初 年 次 教 育	スタディスキルズゼミⅠ	1前	2		3 4 3	1 4	2 0			兼2 兼1 兼2	専任追加のため(27) 専任退職・兼任追加のため(28) 専任追加変更のため(29)	
		スタディスキルズゼミⅡ	1後		2	0 2 1					兼1	専任追加のため(27) 専任変更・退職のため(29)	
		コンピュータ基礎演習Ⅰ	1前	2							兼2 兼1	兼任追加のため(29)	
		コンピュータ基礎演習Ⅱ	1後	2							兼2 兼1	兼任追加のため(29)	
		小 計 (1科目)	－	6	2	0	3 4 3	1 4	2 0	0	0	兼4 兼3 兼2 兼3	
		哲学Ⅰ	1前		2							兼1	
	一 般 教 養	哲学Ⅱ	1後		2							兼1	
		法学Ⅰ	1前		2							兼1	
		法学Ⅱ(日本国憲法)	1後		2							兼1	
		経済学Ⅰ	1前		2							兼1	
		経済学Ⅱ	1後		2							兼1	
		社会学Ⅰ	1前		2							兼1	
		社会学Ⅱ	1後		2							兼1	
		文化人類学Ⅰ	1前		2							兼1	
		文化人類学Ⅱ	1後		2							兼1	
		民俗学Ⅰ	1前		2							兼1	
		民俗学Ⅱ	1後		2							兼1	
		日本美術史Ⅰ	1前		2							兼1	
		日本美術史Ⅱ	1後		2							兼1	
		自然科学概論Ⅰ	1前		2							兼1	
		自然科学概論Ⅱ	1後		2							兼1	
		自然地理学概説Ⅰ	1前		2							兼1	
		自然地理学概説Ⅱ	1後		2							兼1	
		健康科学	1後		2							兼1	
		スポーツ科学Ⅰ	1前		1							兼2 兼1	兼任追加のため(27)
		スポーツ科学Ⅱ	1後		1							兼2 兼1	兼任追加のため(27)
		金沢まち学	1後		1	1	1						
		コンピュータ活用演習Ⅰ	2前		2							兼2 兼1	兼任追加のため(29)
		コンピュータ活用演習Ⅱ	2後		2							兼2 兼1	兼任追加のため(29)
		地域連携プロジェクトⅠ	2前	2			3 2 5	2 1	1			兼1	専任退職・追加のため(28) 専任追加のため(29)
		地域連携プロジェクトⅡ	2後	2			3 2 5	2 1	1			兼1	専任退職・追加のため(28) 専任追加のため(29)
		小 計 (26科目)	－	4	45	0	4 5	2	2	0	0	兼11 兼9	
	キ ャ リ ア 教 育	キャリアデザインⅠ	1前	2				4	1		兼1	専任退職のため(28) 兼任追加のため(29)	
		キャリアデザインⅡ	1後	2				4	1		兼1	専任退職のため(28)	
		私のキャリアプランニングⅠ	3前	1			1		1		兼1	兼任辞退・専任追加のため(29)	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
教養科目	私のキャリアプランニングⅡ	3後		1		1		1			兼1	兼任辞退・専任追加のため(29)
	就業体験(インターンシップ等)	1通		1		1						
	地域貢献(ボランティア等)	1通		1		1						
	小計 (7科目)	—	5	3	0	2 1	4	0 1	0	0	兼1	
外国語科目	基礎英語Ⅰ	1前	2			1 2 3	1	2 3 2				専任退職のため(27) 専任退職・追加及び昇格のため(29)
	基礎英語Ⅱ	1前	2			1 2 3	1	2 3 2				専任退職のため(27) 専任退職・追加のため(28) 昇格のため(29)
	English CommunicationⅠ	1前	2			0 1 2		2 1			兼1 兼2 兼1	専任退職のため(27) 専任退職・追加のため(28) 専任追加のため(29)
	English CommunicationⅡ	1後	2			0 1 2		2 1			兼1 兼2 兼1	専任退職のため(27) 専任退職・追加のため(28)
	英語プレゼンテーション初級Ⅰ	1前	2			1 2 3	1	2 3 2				専任退職のため(27) 専任退職・追加のため(28) 昇格のため(29)
	英語プレゼンテーション初級Ⅱ	1後	2			1 2 3	1	2 3 2				専任退職のため(27) 専任退職・追加のため(28) 昇格のため(29)
	小計 (6科目)	—	12	0	0	1 3 5	1 0	4 3 2	0	0	兼3 兼2 兼1	専任退職・追加のため(28) 専任追加・昇格のため(29)
	ドイツ語Ⅰ	1前		2							兼1	
	ドイツ語Ⅱ	1後		2							兼1	
	フランス語Ⅰ	1前		2							兼1	
	フランス語Ⅱ	1後		2							兼1	
	中国語Ⅰ	1前		2							兼1 兼2 兼1	兼任追加のため(27) 兼任退職のため(28)
	中国語Ⅱ	1後		2							兼1 兼2 兼1	兼任追加のため(27) 兼任退職のため(28)
	朝鮮語Ⅰ	1前		2		1						
	朝鮮語Ⅱ	1後		2		1						
	小計 (8科目)	—	0	16	0	1	0	2	0	0	兼3 兼4	兼任退職のため(28)
	合計 (50科目)	—	27	66	0	7 10	7 6	5 4 3	0	0	兼16 兼19 兼15	

科目区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	専門基礎必修科目	日本文学専攻	日本文学概説Ⅰ	1前	2		1						
			日本文学概説Ⅱ	1後	2		1						
			日本語学概説Ⅰ	1前	2			1					
			日本語学概説Ⅱ	1後	2			1					
			日本文学史Ⅰ	2前	2			1				兼1	専任退職・兼任追加のため(29)
			日本文学史Ⅱ	2後	2			1					
		英語学専攻	英語学概論Ⅰ	1前	2			1	1				昇格のため(29)
			英米文学概論Ⅰ	1前	2		1		1				専任退職・追加のため(28)
			English Presentation (Intermediate)Ⅰ	2前	2		1						専任退職のため(27)
							2		1				専任退職・追加のため(28)
			English Presentation (Intermediate)Ⅱ	2後	2		1						専任退職のため(27)
							2		1				専任退職・追加のため(28)
			World Culture through EnglishⅠ	2前	2		1						専任退職のため(27)
							2		1				専任退職・追加のため(28)
			World Culture through EnglishⅡ	2後	2		1						専任退職のため(27)
							2		1				専任退職・追加のため(28)
		歴史学専攻	史学概論	1後	2				1				
			日本史概説Ⅰ	1前	2		1						
			日本史概説Ⅱ	1後	2		1						
		心理学専攻	心理学概論A	1前	2			1					
			心理学概論B	1前	2			1	1			兼1	兼任退職・専任追加のため(28)
			心理学統計法Ⅰ	2前	2			1	1				専任追加のため(29)
			心理学統計法Ⅱ	2後	2			1					専任担当者変更のため(29)
			小計 (19科目)	—	38		3 5 6	5	5 2	0	0	兼1	
	専門基礎選択科目	日本文学専攻	日本語表現法	1通		4		1					
			漢文学講読Ⅰ	2前		2		1					
			漢文学講読Ⅱ	2後		2		1					
			古典文学講読Ⅰ	2前		2		1				兼1	専任退職のため(28)
			古典文学講読Ⅱ	2後		2		1				兼1	専任退職のため(28)
			近・現代文学講読	2前		2		1					
			児童文学	2後		2		1					
			評論の読み方	2後		2		1					
			日本語教育学Ⅰ	2前		2		1					
			日本語教育学Ⅱ	2後		2		1					
		英米文学専攻	英語学概論Ⅱ	1後		2	1						
			英米文学概論Ⅱ	1後		2	1		1			兼1	専任退職・追加のため(28)
			Japanese Culture through English	1後		2	1		1			兼1	専任退職・追加のため(28)
			英語資格試験対策Ⅰ	2前		2			1				
			英語資格試験対策Ⅱ	2後		2			1				
			English Writing	2前		2	1		1				後任者未定のため(27)
													専任追加のため(28)
			Academic Writing	2後		2	1		1				後任者未定のため(27)
			Study English Abroad	2通		4	1		1				専任追加のため(28)
		歴史学専攻	西洋史概説Ⅰ	1前		2			1				
			西洋史概説Ⅱ	1後		2			1				
			東洋史概説Ⅰ	1前		2						兼1	
			東洋史概説Ⅱ	1後		2						兼1	
			考古学概説Ⅰ	1前		2	1					兼1	専任追加のため(27)
			考古学概説Ⅱ	1後		2	1					兼1	専任追加のため(27)
			保存科学概説Ⅰ	1前		2		1					
			保存科学概説Ⅱ	1後		2		1					
			人文地理学概説Ⅰ	2前		2						兼1	
			人文地理学概説Ⅱ	2後		2						兼1	
			地誌	2後		2	1					兼1	専任追加のため(27)

科目区分			授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目	専門基礎選択科目	心理学専攻	学習心理学	1後		2			1				
			発達心理学	1後		2			1				
			臨床心理学	1後		2				1			兼1 専任が担当するため(29)
			心理学実習(調査法)	2前		2			1				
			心理学実習(実験法)	2後		2			1				
			パーソナリティ心理学	2前		2			1				
			社会心理学	2後		2				1			兼1 専任が担当するため(29)
			精神保健学	2後		2							兼1
			小計 (38科目)	—	0	78	0	4 3 5 3	6 7 3 7	7 3 1 7	0	0	兼4 兼7 兼6 兼7
			合 計 (56科目)	—	38	78	0	7 10	7 7	7 3	0	0	兼4 兼8
専門科目	日本文学専攻	日本文学専攻	地域と文学	2前		2		1					
			書道(書写実習)	3通		2							兼1
			古典文学演習	3通		4			1				兼1 専任退職のため(28)
			近・現代文学演習A	3通		4			1				
			近・現代文学演習B	3通		4			1				
			近・現代文学演習C	3通		4		1					
			日本語学演習	3通		4			1				
			日本語教育学演習	3通		4			1				
			古典文学特殊講義	3後		2		1	1				専任退職・採用のため(28)
			近・現代文学特殊講義A	3前		2			1				
			近・現代文学特殊講義B	3後		2			1				
			日本語学特殊講義	3前		2			1				
			社会言語学Ⅰ	2前		2							兼1
			社会言語学Ⅱ	2後		2							兼1
			日本語史概説Ⅰ	2前		2							兼1
			日本語史概説Ⅱ	2後		2							兼1
			創作入門	3前		2			1				
			創作実践	3後		2		1					
			日本語文法Ⅰ	3前		2			1				
			日本語文法Ⅱ	3後		2			1				
			小計 (20科目)	—	0	52	0	2 1	3 4	0	0	0	兼3 兼2
	英米文学専攻	英米文学専攻	英語学講読Ⅰ	2前		2		1					
			英語学講読Ⅱ	2後		2			1	1			昇格のため(29)
			英語学演習Ⅰ	3通		4			1	1			昇格のため(29)
			英語学演習Ⅱ	4通		4			1	1			昇格のため(29)
			第二言語習得演習Ⅰ	3通		4				1			
			第二言語習得演習Ⅱ	4通		4				1			
			言語学演習Ⅰ	3通		4		1					
			言語学演習Ⅱ	4通		4		1					
			英語文法論Ⅰ	2前		2			1	1			昇格のため(29)
			英語文法論Ⅱ	2後		2			1	1			昇格のため(29)
			英語音声学Ⅰ	2前		2		1					
			英語音声学Ⅱ	2後		2		1					
			言語習得研究Ⅰ	2前		2				1			
			言語習得研究Ⅱ	2後		2				1			
			English DiscussionⅠ	3前		2		1 2		1			専任退職のため(27) 専任退職・追加のため(28)
			English DiscussionⅡ	3後		2		1 2		1			専任退職のため(27) 専任退職・追加のため(28)
			英米文学講読Ⅰ	2前		2		1		1			専任退職・追加のため(28)
			英米文学講読Ⅱ	2後		2		1		1			専任退職・追加のため(28)
			原典講読Ⅰ	3前		2		1		1			専任退職のため(27)
			原典講読Ⅱ	3後		2		1		1			専任退職のため(27)
			英米文学演習Ⅰ	3通		4		1 2		2 1			専任退職のため(27) 専任退職・追加のため(28)
			英米文学演習Ⅱ	4通		4		1 2		2 1			専任退職のため(27) 専任退職・追加のため(28)

科目区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	英米文学専攻	英米文化論Ⅰ	2前		2		1					兼1	担当者変更のため(27)
		英米文化論Ⅱ	2後		2		1					兼1	担当者変更のため(27)
							1	1	4 5				
		小計 (25科目)	—	0	64	0	5	0	2	0	0	兼1	
	歴史学専攻	古文書学演習Ⅰ	2前		2		1						
		古文書学演習Ⅱ	2後		2		1						
												兼1	専任追加のため(27)
		文献資料研究法	2通		4		1					兼1	専任退職・兼任追加のため(29)
		古文書学実習Ⅰ	3前		1		2						
		古文書学実習Ⅱ	3後		1		2						
		中世史演習Ⅰ	3前		2		1						
		中世史演習Ⅱ	3後		2		1						
		近世史演習Ⅰ	3前		2		1						
		近世史演習Ⅱ	3後		2		1						
		近代史演習Ⅰ	3前		2		1					兼1	専任が担当するため(29)
		近代史演習Ⅱ	3後		2		1					兼1	専任が担当するため(29)
		日本経済史	2前		2		1						
		日本史特殊講義	4前		2		1						
		東洋史文献講読	2通		4							兼1	
		東洋史演習	3通		4							兼1	
		東洋史特殊講義	4前		2							兼1	
		西洋史文献講読Ⅰ	2前		2				1				
		西洋史文献講読Ⅱ	2後		2				1				
		西洋史演習	3通		4				1				
		西洋政治史	2前		2				1				
		西洋史特殊講義	4前		2				1				
		考古学研究法Ⅰ	2前		2		1					兼1	専任追加のため(27)
		考古学研究法Ⅱ	2後		2		1					兼1	専任追加のため(27)
		考古学演習Ⅰ	2前		2		1					兼1	専任追加のため(27)
													後任者未定のため(27)
		考古学演習Ⅱ	2後		2		1					兼1	兼任追加のため(28)
													後任者未定のため(27)
		考古学演習Ⅲ	3前		2		1					兼1	兼任追加のため(28)
		考古学と自然科学	2前		2			1					
		古代学演習Ⅰ	3前		2		1					兼1	専任が担当するため(29)
		古代学演習Ⅱ	3後		2		1					兼1	専任が担当するため(29)
		考古学実習Ⅰ	3前		2		1					兼1	専任が担当するため(29)
							1						後任者未定のため(27)
		考古学実習Ⅱ	3後		2		1					兼1	兼任追加のため(28)
		考古学実習Ⅱ	3後		2		1					兼1	専任が担当するため(29)
		考古学特殊講義	4前		2		1					兼1	専任追加のため(27)
		保存科学演習	2通		4			1					
		保存科学実習	3通		4			1					
		保存科学特殊講義	4前		2		1						
		埋蔵文化財の保護と活用	4前			2	1					兼1	
												兼4 兼6 兼5 兼6	
		小計 (36科目)	—	0	80	2	3 4	1	1	0	0		
	心理学専攻	知覚と認知の心理	3前		2			1					
													兼任退職・専任追加のため(28)
		心身の健康と心理	3後		2		1	1				兼1	専任講師に担当変更(29)
		ビジネスと心理学	3前		2			1				兼1	専任講師に担当変更(29)
		対人関係の心理学	3後		2		1						
		多変量解析法	3前		2		1						
		実験計画法	3後		2		1						
		心理学実習(検査法)	3前		2			1				兼1	兼任退職・専任追加のため(28)
		心理学実習(面接法)	3後		2			1				兼1	兼任退職・専任追加のため(28)
		社会調査法	3前		2			1				兼1	兼任退職・専任追加のため(29)
		認知学習心理学演習Ⅰ	3通		4		1						
		発達心理学演習Ⅰ	3通		4		1						

科目区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
専門科目	心理学専攻	臨床心理学演習Ⅰ	3通		4				1			兼1	兼任退職・専任追加のため(28)
		社会心理学演習Ⅰ	3通		4				1			兼1	専任追加のため(29)
		認知学習心理学演習Ⅱ	4通		4			1					
		発達心理学演習Ⅱ	4通		4			1					
		臨床心理学演習Ⅱ	4通		4				1			兼1	兼任退職・専任追加のため(28)
		社会心理学演習Ⅱ	4通		4				1			兼1	専任追加のため(29)
		小計 (18科目)	—	0	50	0	0	2	2 1 0	0	0	兼1 兼3	
		(97科目)	—	0	246	2	6 8 9	6 7	7 4 3	0	0	兼10 兼8 兼10	
学科共通専門	地域実践研究Ⅰ	3前		1		1							
	地域実践研究Ⅱ	3後		1		1							
	海外演習A	1通		2		1							
	海外演習B	1通		2		1							
	海外演習C	1通		2		1							
	小計 (5科目)	—	0	8	0	1	0	0	0	0			
	プレ卒業研究演習	3通	4			7 4 6 10	7 6 7	5 6 4 3			兼2	専任退職のため(27) 兼任退職・専任追加のため(28) 専任追加・昇格のため(29)	
	卒業研究	4通	6			7 4 6 10	7 6 7	5 6 4 3			兼2	専任退職のため(27) 兼任退職・専任追加のため(28) 専任追加・昇格のため(29)	
	小計 (2科目)	—	10	0	0	7 4 6 10	7 6 7	5 6 4 3			兼2		
	合 計 (7科目)	—	10	8	0	7 4 6 10	7 6 7	5 6 4 3			兼2		
合 計 (210科目)		—	75	398	2	9 11 13	8 6 7	7 7 3	0	0	兼26 兼28 兼27		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
16	194		210	16	194	1	211	教職科目として自由科目を1科目追加(27)
				[]	[]	[1]	[1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}}$	=	$\frac{0}{210}$	=	<table border="1"><tr><td>0</td></tr></table> %	0
0					

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（3）未開講科目」と「（4）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	金沢学院短期大学(収容定員:320人)と共用 ◆運動場用地(専用)借用面積:1,386㎡、期間:23年			
	校 舎 敷 地	0 ㎡	82,504 ㎡	0 ㎡	82,504 ㎡				
	運動場用地	35,590 ㎡	10,612 ㎡	0 ㎡	46,202 ㎡				
	小 計	35,590 ㎡	93,116 ㎡	0 ㎡	128,706 ㎡				
	そ の 他	31,610 ㎡	9,640 ㎡	0 ㎡	41,250 ㎡				
	合 計	67,200 ㎡	102,756 ㎡	0 ㎡	169,956 ㎡				
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	金沢学院短期大学と共用			
		16,288 ㎡ (16,288 ㎡)	16,984 ㎡ (16,984 ㎡)	5,107 ㎡ (5,107 ㎡)	38,379 ㎡ (38,379 ㎡)				
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体(一部、金沢学院短期大学と共用)		
		53 室	13 室	34 室	11 室 (補助職員 3 人)	4 室 (補助職員 2 人)			
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		専任教員が増加したため (29)		
		文学部文学科			24 23 室				
(5)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書は大学及び短期大学 全体での共用分を含む。 機械・器具、標本は大学及び短期大学全体での共用分を含む。	
				電子ジャーナル 〔うち外国書〕					
	文学部	144,376 [18,277] (136,300 [16,973])	731 [379] (731 [379])	335 [335] (335 [335])	3,078 (2,878)	4,401 (4,401)	14 (14)		
	計	144,376 [18,277] (136,300 [16,973])	731 [379] (731 [379])	335 [335] (335 [335])	3,078 (2,878)	4,401 (4,401)	14 (14)		
(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収納可能冊数			
		2,755 ㎡		271 席		229,389 冊			
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		3,391 ㎡		屋内練習場		テニスコート			
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	※専攻により実習費が異なる
		教員 1 人当り研究費等	300 千円	300 千円	図書購入費	2,450 千円	3,380 千円	3,380 千円	
		共同研究費等	250 千円	250 千円	設備購入費	5,765 千円	2,500 千円	2,500 千円	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	日本語・日本文学専攻 英語・英米文学専攻 心理学専攻 歴史学専攻	
		1,190 千円	970 千円	970 千円	970 千円	— 千円	— 千円		
		1,190 千円	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円	— 千円	— 千円		
		1,190 千円	1,020 千円	1,020 千円	1,020 千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常経費補助金、資産運用収入 等					

- (注) ・ 設置時の計画を，申請書の様式第 2 号（その 1 の 1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「（5）図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成 2 9 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「（29）」を「備考」に赤字で記入してください。
なお，昨年度の報告において赤字で見え消した部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「（8）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	金 沢 学 院 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
文学部	年	人	年次 人	人		倍			
日本文学科	4	－	－	－	学士 （文学）	－	昭和62年度	石川県金沢市末町10の5番地	平成27年より学生募集停止
国際文化学科	4	－	－	－	学士 （文学）	－	昭和62年度	同上	平成27年より学生募集停止
歴史文化学科	4	－	－	－	学士 （文学）	－	平成23年度	同上	平成27年より学生募集停止
文学科	4	130	10	540	学士 （文学）	1. 14	平成27年度	同上	
日本語・日本文学専攻	4	40	(便宜上) (5)	170	学士 （文学）	1. 38	平成27年度	同上	
英語・英米文学専攻	4	30		120	学士 （文学）	0. 46	平成27年度	同上	
歴史学専攻	4	40	(便宜上) (5)	170	学士 （文学）	0. 84	平成27年度	同上	
心理学専攻	4	20		80	学士 （文学）	2. 31	平成27年度	同上	
経営情報学部									
経営ビジネス学科	4	－	－	－	学士 （経営学）	－	平成18年度	同上	平成28年より学生募集停止
経営システム学科	4	－	－	－	学士 （経営学）	－	平成18年度	同上	平成28年より学生募集停止
経営情報学科	4	160	3年次 10	660	学士 （経営学）	1. 17	平成28年度	同上	
美術文化学部									平成28年より学生募集停止
美術学科	4	－	－	－	学士 （芸術学）	－	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
メディアデザイン学科	4	－	－	－	学士 （学術）	－	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
文化財学科	4	－	－	－	学士 （学術）	－	平成12年度	同上	平成23年より学生募集停止
芸術学部									
芸術学科	4	70	－	280	学士 （芸術学）	0. 81	平成28年度	同上	
人間健康学部									平成28年より学部名称変更
スポーツ健康学科	4	100	－	400	学士 （スポーツ健康学）	1. 15	平成23年度	同上	
健康栄養学科	4	80	3年次 5	330	学士 （栄養学）	0. 89	平成28年度	同上	
大学院経営情報学研究科									
経営情報学専攻 （博士前期課程）	2	10	－	20	修士 （経営情報学）	0. 65	平成11年度	石川県金沢市末町10の 5番地及びサテライト 教室（石川県金沢市南 町3番1号 南町中央ビ ル）	
経営情報学専攻 （博士後期課程）	3	4	－	12	博士 （経営情報学）	0. 33	平成17年度		
大学院人文学研究科									
人文学専攻 （修士課程）	2	5	－	10	修士 （文学）	0. 60	平成20年度	石川県金沢市末町10 の5番地	
大学院スポーツ健康学研究科									
スポーツ健康学専攻 （修士課程）	2	5	－	10	修士 （スポーツ健康学）	0. 50	平成27年度	石川県金沢市末町10 の5番地	

大 学 の 名 称	金 沢 学 院 短 期 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
ライフデザイン総合学科	2	—	—	—	短期大学士 (学術)	—	平成21年度	石川県金沢市末町10番地	平成28年より学生募集停止
現代教養学科	2	100	—	200	短期大学士 (教養)	0.38	平成28年度	石川県金沢市末町10番地	
食物栄養学科	2	60	—	120	短期大学士 (栄養学)	0.90	平成17年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(ＡＣ対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成２９年５月１日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・ＡＣ対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第２位まで(小数点以下第３位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

＜文学部 文学科＞

（１）担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授 (学長)	秋山 稔 (61)	平成27年4月	地域連携プロジェクトⅠ	専	准教授	小林 淳一 (40)	平成29年4月	地域連携プロジェクトⅠ	平成29年1月より学長と理事長を兼務することとなり、担当科目の見直しを行った。(29)
				地域連携プロジェクトⅡ					地域連携プロジェクトⅡ	
				日本文学概説Ⅰ				平成29年4月	プレ卒業研究演習	授業科目の追加(29)
				日本文学概説Ⅱ						
				金沢まち学						
専	教授 (学部長)	水洞 幸夫 (55)	平成27年4月	就業体験 (インターンシップ等)						
				地域貢献 (ボランティア等)						
				地域実践研究Ⅰ						
				地域実践研究Ⅱ						
				海外演習A						
				海外演習B						
				海外演習C						
				地域連携プロジェクトⅠ						
				地域連携プロジェクトⅡ						
				地域と文学						
				近・現代文学演習C						
				創作実践						
				プレ卒業研究演習						
				卒業研究						
専	教授	石崎 建治 (50)	平成27年4月	スタディスキルズゼミⅠ						
				日本史概説Ⅰ						
				古文書学演習Ⅰ						
				古文書学実習Ⅰ						
				古文書学実習Ⅱ						
				中世史演習Ⅰ						
				中世史演習Ⅱ						
				日本史特殊講義						
				プレ卒業研究演習						
				卒業研究						
専	教授	木梨 由利 (64)	平成27年4月	基礎英語Ⅰ					基礎英語Ⅰ	履修者を考慮し担当科目を減ずるもの。当該科目は担当者複数のため後任予定はない。(28)
				基礎英語Ⅱ					基礎英語Ⅱ	
				英語プレゼンテーション初級Ⅰ					英語プレゼンテーション初級Ⅰ	
				英語プレゼンテーション初級Ⅱ					英語プレゼンテーション初級Ⅱ	
				英米文学概論Ⅰ	専	講師	ミヨ リ 三好 力 (30)	平成28年4月	英米文学概論Ⅰ	平成28年3月に定年を迎え、本人の希望により退職となったため担当者を変更した(28)
				英米文学講読Ⅰ					英米文学講読Ⅰ	
				英米文学講読Ⅱ					英米文学講読Ⅱ	
				英米文学演習Ⅰ					英米文学演習Ⅰ	
				Study English Abroad					Study English Abroad	
				プレ卒業研究演習					プレ卒業研究演習	
				卒業研究					卒業研究	
				英米文学演習Ⅱ			ミヨ リ 三好 力 (30)	平成28年4月	英米文学演習Ⅱ	平成28年3月に定年を迎え、本人の希望により退職となったため担当者を変更した(28)
									英米文学演習Ⅱ	履修者を考慮し、担当科目を減ずるもの。担当複数のため支障なし(29)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	清水 宣義 (59)	平成27年4月	地域連携プロジェクトⅠ					地域連携プロジェクトⅠ	当該科目は担当者複数のため後任予定はない。(27)
				地域連携プロジェクトⅡ	専	教授	ﾊﾞﾊﾞ ㏄ ㏄ 馬場先 恵子 (59)	平成29年4月	地域連携プロジェクトⅠ	後任の予定はなかったが、当該者が適任であると判断し、担当者に追加(29)
				考古学演習Ⅲ	専	教授	ﾊﾞﾊﾞ ㏄ ㏄ 馬場先 恵子 (58)	平成28年4月	地域連携プロジェクトⅡ	当該科目は担当者複数のため後任予定はない。(27) 後任の予定はなかったが、当該者が適任であると判断し、担当者に追加(28)
				考古学実習Ⅱ	兼任	講師	ｶﾏﾗ ﾐﾂｼ 河村 好光 (63)	平成28年4月	考古学演習Ⅲ 考古学実習Ⅱ	平成26年12月に死亡により退職。 現在来年度に向けて後任者の準備をしている(27) 兼任教員を補充した(28)
				考古学演習Ⅱ			<u>後任者未定</u>		考古学演習Ⅱ	平成26年12月に死亡により退職。 現在来年度に向けて後任者の準備をしている(27)
				埋蔵文化財の保護と活用	専	教授	ｺｼﾞﾏ ﾖｼｶ 小嶋 芳孝 (67)	平成29年4月	考古学演習Ⅱ	専任教員の担当科目を追加した(29)
				埋蔵文化財の保護と活用	専	准教授	ｶﾏﾗ ﾖｼﾔ 中村 晋也 (44)	平成28年4月	埋蔵文化財の保護と活用	平成26年12月に死亡により退職。 現在来年度に向けて後任者の準備をしている(27) 担当者として専任教員の科目を追加した(28)
				ブレ卒業研究演習 卒業研究					ブレ卒業研究演習 卒業研究	当該科目は担当者複数のため後任予定はない。(27)
専	教授	槻木 裕 (66)	平成27年4月	スタディスキルズゼミⅠ スタディスキルズゼミⅡ	兼任	講師				平成28年3月に定年を迎え、 本人の希望により併設の短期大学へ異動となったため(28)
専	教授	中島 彰史 (56)	平成27年4月	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英語プレゼンテーション初級Ⅰ 英語プレゼンテーション初級Ⅱ 朝鮮語Ⅰ 朝鮮語Ⅱ 英語学概論Ⅱ 英語学講読Ⅰ 言語学演習Ⅰ 言語学演習Ⅱ 英語音声学Ⅰ 英語音声学Ⅱ ブレ卒業研究演習 卒業研究						
				ブレ卒業研究演習 卒業研究					ブレ卒業研究演習 卒業研究	当該科目の負担軽減のため科目を減ずるが、担当者複数のため教員追加はない。(29)
専	教授	リック・ブローダウェイ (54)	平成27年4月	地域連携プロジェクトⅠ 地域連携プロジェクトⅡ					地域連携プロジェクトⅠ 地域連携プロジェクトⅡ	当該科目は担当者複数のため後任予定はない。(27)
					<u>後任者未定</u>					平成28年3月に本人都合による退職により担当を辞退。現在来年度に向けて後任者の準備をしている(28)
				English CommunicationⅠ	専	講師	ﾐﾂ ﾘ 三好 カ (31)	平成29年4月	English CommunicationⅠ	平成28年4月に採用した専任教員が担当(29)
				English CommunicationⅡ					English CommunicationⅡ	
				English Presentation (Intermediate)Ⅰ	専	講師	ﾘﾁﾔｰﾄﾞ・ｸﾞﾗ ッｼ (57)	平成29年4月	English Presentation (Intermediate)Ⅰ	平成28年4月に採用した専任教員が担当(29)
				English Presentation (Intermediate)Ⅱ					English Presentation (Intermediate)Ⅱ	
				World Culture through EnglishⅠ	専	講師	ﾘﾁﾔｰﾄﾞ・ｸﾞﾗ ッｼ (57)	平成29年4月	World Culture through EnglishⅠ	平成28年4月に採用した専任教員が担当(29)
				World Culture through EnglishⅡ					World Culture through EnglishⅡ	
				English DiscussionⅠ	専	講師	ﾘﾁﾔｰﾄﾞ・ｸﾞﾗ ッｼ (57)	平成29年4月	English DiscussionⅠ	平成28年4月に採用した専任教員が担当(29)
				English DiscussionⅡ					English DiscussionⅡ	
				ブレ卒業研究演習 卒業研究					ブレ卒業研究演習 卒業研究	当該科目は担当者複数追加のため後任予定なし。(29)
				英米文化論Ⅰ 英米文化論Ⅱ	兼任	講師	ﾏｼｺ ﾏﾁﾔ 益子 待也 (62)	平成28年4月	英米文化論Ⅰ 英米文化論Ⅱ	平成28年4月の法人内の異動により併設の短期大学教員となったため(28)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	ゴードン・ ペイトソン (52)	平成27年4月	English Communication I	兼任	講師	リチャード・グラ ッシ (55)	平成27年4月	English Communication I	平成27年3月に本人都合に よる退職により担当を辞退 。現在来年度に向けて後任 者の準備をしている(27)
				English Communication II	専	講師	リチャード・グラ ッシ (56)	平成28年4月	English Communication II	
				Japanese Culture through English					Japanese Culture through English	
				World Culture through English I					World Culture through English I	
				World Culture through English II					World Culture through English II	
専	教授	ゴードン・ ペイトソン (52)	平成27年4月	English Discussion I	専	講師	リチャード・グラ ッシ (57)	平成29年4月	English Discussion I	後任者としてリチャード・ グラッシを専任で採用した (28)
				English Discussion II					English Discussion II	
				English Writing					English Writing	
				ブレ卒業研究演習					ブレ卒業研究演習	
				卒業研究					卒業研究	
専	教授	水 井 雅子 (66)	平成27年4月	English Presentation (Intermediate) I	専	講師	ミヨシ リキ 三好 力 (30)	平成28年4月	English Presentation (Intermediate) I	当該科目は担当者複数のため後 任予定はない。(27)
				English Presentation (Intermediate) II					English Presentation (Intermediate) II	
				Academic Writing					Academic Writing	
				地域連携プロジェクト I					地域連携プロジェクト I	
				地域連携プロジェクト II					地域連携プロジェクト II	
専	教授	水 井 雅子 (66)	平成27年4月	基礎英語 I	専	講師	カトウ ヨシノブ 工藤 義信 (30)	平成29年4月	基礎英語 I	後任の予定はなかったが、当該 者が適任であると判断し、担当 者に追加(29)
				基礎英語 II					基礎英語 II	
				英語プレゼンテーション初級 I					英語プレゼンテーション初級 I	
				英語プレゼンテーション初級 II					英語プレゼンテーション初級 II	
				英米文学概論 II	専	講師	カトウ ヨシノブ 工藤 義信 (28)	平成27年4月	英米文学概論 II	平成27年3月に本人都合に よる退職により担当者を変 更(27)
専	教授	見瀬 和雄 (62)	平成27年4月	原典講読 I					原典講読 I	
				原典講読 II					原典講読 II	
				英米文学演習 I					英米文学演習 I	
				英米文学演習 II					英米文学演習 II	
				ブレ卒業研究演習					ブレ卒業研究演習	
専	教授	見瀬 和雄 (62)	平成27年4月	卒業研究	専	講師	モリモト ヨシキ 森本 哲介 (32)	平成28年4月	卒業研究	教員の負担軽減のため科目を減 ずるが、担当者複数のため支障 なし。(29)
				スタディスキルズゼミ I					スタディスキルズゼミ I	
				地域連携プロジェクト I					地域連携プロジェクト I	
				地域連携プロジェクト II					地域連携プロジェクト II	
				日本史概説 II	専	講師			日本史概説 II	体調不良による負担軽減の ため担当者変更(28)
専	教授	柳澤 良一 (66)	平成27年4月	古文書学演習 II					古文書学演習 II	
				古文書学実習 I					古文書学実習 I	
				古文書学実習 II					古文書学実習 II	
				近世史演習 I					近世史演習 I	
				近世史演習 II					近世史演習 II	
専	教授	柳澤 良一 (66)	平成27年4月	日本経済史	専	講師			日本経済史	
				ブレ卒業研究演習					ブレ卒業研究演習	
				卒業研究					卒業研究	
				漢文学講読 I					漢文学講読 I	
				漢文学講読 II					漢文学講読 II	

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	朝木 敏子 (59)	平成27年4月	スタディスキルズゼミⅠ 日本文学史Ⅰ 古典文学講読Ⅰ 古典文学講読Ⅱ 古典文学演習 古典文学特殊講義 ブレ卒業研究演習 卒業研究					スタディスキルズゼミⅠ	当該科目は担当者複数のため後任予定はない。(28)
					兼任	講師				平成28年3月に定年を迎え、本人の希望により退職となったため兼任教員として再雇用(28)
					専	教授	ヤキザワ リョウイチ 柳澤 良一 (68)	平成29年4月	古典文学特殊講義 ブレ卒業研究演習 卒業研究	本人の都合により科目担当者変更(29)
専	准教授	蒨 際子 (51)	平成27年4月	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 日本語表現法 児童文学 近・現代文学演習B 近・現代文学特殊講義B 創作入門 ブレ卒業研究演習 卒業研究						
専	准教授	寺田 達也 (47)	平成27年4月	スタディスキルズゼミⅠ キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 日本文学史Ⅱ 近・現代文学講読 評論の読み方 近・現代文学演習A 近・現代文学特殊講義A ブレ卒業研究演習 卒業研究			(後掲 室橋弘人が担当)	平成29年4月	スタディスキルズゼミⅠ	負担軽減のため担当者変更(29)
専	准教授	寺田 智美 (48)	平成27年4月	日本語学概説Ⅰ 日本語学概説Ⅱ 日本語教育学Ⅰ 日本語教育学Ⅱ 日本語学演習 日本語教育学演習 日本語学特殊講義 日本語文法Ⅰ 日本語文法Ⅱ ブレ卒業研究演習 卒業研究						
専	准教授	中崎 崇志 (44)	平成27年4月	スタディスキルズゼミⅠ 地域連携プロジェクトⅠ 地域連携プロジェクトⅡ 心理学概論A 心理学統計法Ⅱ 心理学実習(実験法) 学習心理学 知覚と認知の心理 実験計画法 認知学習心理学演習Ⅰ 認知学習心理学演習Ⅱ ブレ卒業研究演習 卒業研究						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	中村 晋也 (43)	平成27年4月	スタディスキルズゼミⅠ	専	教授	馬場先 恵子	平成28年4月	スタディスキルズゼミⅠ	負担軽減のため担当者変更 (28)
				キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 保存科学概説Ⅰ 保存科学概説Ⅱ 考古学と自然科学 保存科学演習 保存科学実習 保存科学特殊講義 ブレ卒業研究演習 卒業研究						
専	准教授	前川 浩子 (37)	平成27年4月	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 心理学統計法Ⅰ 心理学実習(調査法) 発達心理学 パーソナリティ心理学 対人関係の心理学 多変量解析法 発達心理学演習Ⅰ 発達心理学演習Ⅱ ブレ卒業研究演習 卒業研究						
専	講師	大滝 宏一 (35)	平成27年4月	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英語プレゼンテーション初級Ⅰ 英語プレゼンテーション初級Ⅱ 英語学概論Ⅰ 英語学講読Ⅱ 英語学演習Ⅰ 英語学演習Ⅱ 英語文法論Ⅰ 英語文法論Ⅱ 言語習得研究Ⅰ ブレ卒業研究演習 卒業研究	専	准教授				昇格のため(29)
専	講師	仲丸 英起 (36)	平成27年4月	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ					キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ	当該科目は担当者複数のた め後任予定はない。(27)
					兼任	教授	コマツ ヨウイチ 小松 洋一 (66)	平成29年4月	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ	後任の予定はなかったが、 当該者が適任であると判断 し、担当者に追加(29)
				西洋政治史 史学概論 西洋史概説Ⅰ 西洋史概説Ⅱ 西洋史文献講読Ⅰ 西洋史文献講読Ⅱ 西洋史演習 西洋史特殊講義 ブレ卒業研究演習 卒業研究	専任	講師	か け 加来 奈奈 (33)	平成28年4月	西洋政治史 史学概論 西洋史概説Ⅰ 西洋史概説Ⅱ 西洋史文献講読Ⅰ 西洋史文献講読Ⅱ 西洋史演習 西洋史特殊講義 ブレ卒業研究演習 卒業研究	平成28年3月に本人都合に よる退職により担当者を変 更(28)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	坂東 貴夫 (41)	平成27年4月	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英語プレゼンテーション初級Ⅰ 英語プレゼンテーション初級Ⅱ 第二言語習得演習Ⅰ 第二言語習得演習Ⅱ 言語習得研究Ⅱ 英語資格試験対策Ⅰ 英語資格試験対策Ⅱ プレ卒業研究演習 卒業研究						
					専	講師	ムロハシ ヒロト 室橋 弘人 (38)	平成29年4月	スタディスキルズゼミⅠ 心理学統計法Ⅰ 心理学実習(調査法) 社会心理学 社会心理学演習Ⅰ 社会心理学演習Ⅱ ビジネスと心理学 社会調査法 プレ卒業研究演習 卒業研究	専任教員の追加(29)
兼任	教授	根本 博 (66)	平成27年4月	経済学Ⅰ 経済学Ⅱ						
兼任	教授	馬場先 恵子 (57)	平成27年4月	地誌	専	教授				教育効果を考え専任教員とした。(27)
兼任	教授	平木 孝志 (63)	平成27年4月	日本美術史Ⅰ 日本美術史Ⅱ						
兼任	教授	益子 待也 (61)	平成27年4月	スタディスキルズゼミⅠ 文化人類学Ⅰ 文化人類学Ⅱ 民俗学Ⅰ 民俗学Ⅱ	兼任	講師				平成28年4月の法人内の異動により併設の短期大学教員となったため(28)
兼任	准教授	佐々木 圭一 (44)	平成27年4月	自然科学概論Ⅰ 自然科学概論Ⅱ 自然地理学概説Ⅰ 自然地理学概説Ⅱ						
兼任	准教授	武村 敏幸 (61)	平成27年4月	法学Ⅰ 法学Ⅱ(日本国憲法)						
兼任	准教授	中村 直行 (50)	平成27年4月	哲学Ⅰ 哲学Ⅱ コンピュータ活用演習Ⅰ コンピュータ活用演習Ⅱ						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	林 文慧 (57)	平成27年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ						
					兼任	講師	木 玉 (57)	平成27年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ	履修学生が多いため、学生の教育効果を考慮して2クラス開講することとし、担当者を追加(27)
										当初は履修者数が多いため教員を追加したが、事由が解消したため担当者を当初の計画に戻すこととし減員(28)
兼任	講師	渡辺 直勇 (49)	平成27年4月	健康科学 スポーツ科学Ⅰ スポーツ科学Ⅱ	兼任	准教授				所属学部にて職位の変更があったため(28)
					兼任	教授	フジワラ カオ 藤原 勝夫 (61)	平成27年4月	スポーツ科学Ⅰ	履修学生が多いため、学生の教育効果を考慮して、男女別に開講することとし、担当者を追加(27) 藤原勝夫が職務多忙につき、担当者を外山寛に変更(29)
					兼任	教授	トヤマ ヒロシ 外山 寛 (61)	平成29年4月	スポーツ科学Ⅰ	
					兼任	講師	モリタ カズオ 森田 一雄 (64)	平成27年4月	スポーツ科学Ⅱ	
兼任	講師	木村 敦子 (62)	平成27年4月	臨床心理学 心身の健康と心理 心理学実習(検査法) 心理学実習(面接法) 臨床心理学演習Ⅰ 臨床心理学演習Ⅱ プレ卒業研究演習 卒業研究	専	講師	モリモト ヨシキ 森本 哲介 (32)	平成28年4月	臨床心理学 心身の健康と心理 心理学実習(検査法) 心理学実習(面接法) 臨床心理学演習Ⅰ 臨床心理学演習Ⅱ プレ卒業研究演習 卒業研究	平成28年3月に本人都合による退職により、担当者を変更して専任教員を追加した(28)
兼任	講師	國田 千恵子 (50)	平成27年4月	心理学概論B 社会心理学 社会心理学演習Ⅰ 社会心理学演習Ⅱ ビジネスと心理学 プレ卒業研究演習 卒業研究	専	准教授	マエカワ ヒロコ 前川 浩子 (38)	平成28年4月	心理学概論B	担当者辞退のため変更(28)
					専	准教授	ナガサキ タカ 中崎 崇志 (45)	平成28年4月	社会心理学	担当者辞退のため変更(28)
					専	講師	(前掲 専任教員 室橋弘人が担当)	平成29年4月	社会心理学	専任教員追加のため、担当者変更(29)
							後任者未定 (前掲 専任教員 室橋弘人が担当)	平成29年4月		本務に専念するとのことで、兼任教員を辞退。現在来年度に向けて後任者の準備をしている(28) 後任者として専任教員を追加した(29)
兼任	講師	ロバート・ カニンガム (47)	平成27年4月	English CommunicationⅠ English CommunicationⅡ						
兼任	講師	加藤 和夫 (61)	平成28年4月	社会言語学Ⅰ 社会言語学Ⅱ 日本語史概説Ⅰ 日本語史概説Ⅱ						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	角 谷 洋一 (68)	平成29年4月	私のキャリアプランニングⅠ 私のキャリアプランニングⅡ	専	教授	イザキ ケンジ 石 崎 建 治 (52)	平成29年4月	私のキャリアプランニングⅠ 私のキャリアプランニングⅡ	担当者の科目担当辞退により、専任教員が担当(29)
					専	講師	ミヨシ リキ 三 好 力 (31)	平成29年4月	私のキャリアプランニングⅠ 私のキャリアプランニングⅡ	
兼任	講師	岸 瑞代 (49)	平成29年4月	書道(書写実習)	兼任	講師	ホスイ ミツオ 法 水 光 雄 (69)	平成29年4月	書道(書写実習)	都合により教員変更(29)
兼任	講師	木 村 恵一 (60)	平成27年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ						
兼任	講師	倉 田 明子 (39)	平成28年4月	東洋史文献講読	兼任	講師	ササキ サトシ 佐 々 木 聡 (33)	平成28年4月	東洋史文献講読	担当者辞退のため変更(28)
兼任	講師	小 嶋 芳孝 (65)	平成27年4月	考古学概説Ⅰ 考古学概説Ⅱ 考古学研究法Ⅰ 考古学研究法Ⅱ 考古学演習Ⅰ 古代学演習Ⅰ 古代学演習Ⅱ 考古学実習Ⅰ 考古学特殊講義 埋蔵文化財の保護と活用	専	教授				当初の予定は兼任講師であったが、清水宣義の死亡退職等もあり、教育効果を考慮し専任教授として再雇用(27)
兼任	講師	五 味 武臣 (69)	平成28年4月	人文地理学概説Ⅰ 人文地理学概説Ⅱ						
兼任	講師	蒨 勇造 (68)	平成27年4月	東洋史概説Ⅰ 東洋史概説Ⅱ 東洋史特殊講義	兼任	講師	ササキ サトシ 佐 々 木 聡 (33)	平成28年4月	東洋史概説Ⅰ 東洋史概説Ⅱ 東洋史特殊講義	担当者辞退のため変更(28)
兼任	講師	末 松 智 (57)	平成27年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ						
兼任	講師	永 井 康司 (54)	平成28年4月	精神保健学						
兼任	講師	中 西 一夫 (67)	平成27年4月	コンピュータ基礎演習Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ						
兼任	講師	中 西 茂行 (65)	平成27年4月	スタディスキルズゼミⅠ スタディスキルズゼミⅡ	専	教授	タナベ マサキ 田 邊 正 彰 (59)	平成27年4月	スタディスキルズゼミⅠ スタディスキルズゼミⅡ	本人から授業科目軽減の申出があり、当該科目の担当者を変更(27)
					専	教授	ヨネザワ マサオ 米 澤 正 雄 (65)	平成28年4月	スタディスキルズゼミⅠ スタディスキルズゼミⅡ	体調不良による負担を軽減するため担当者変更(28)
									スタディスキルズゼミⅠ スタディスキルズゼミⅡ	当該科目の負担軽減のため科目を減ずるが、担当者複数のため支障なし。(29)
				社会学Ⅰ 社会学Ⅱ 社会調査法	専	講師	(前掲 専任教員室 補弘人が担当)	平成29年4月	社会調査法	専任教員追加のため、担当者変更(29)

(3) 一① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

(注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3)－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。

・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	木梨 由利	必修	基礎英語Ⅰ	①	平成28年3月に定年を迎え、本人の希望により退職となったため担当者を変更した(28)
			必修	基礎英語Ⅱ	①	
			必修	英語プレゼンテーション初級Ⅰ	①	
			必修	英語プレゼンテーション初級Ⅱ	①	
			必修	英米文学概論Ⅰ	①	
			選択	英米文学講読Ⅰ	①	
			選択	英米文学講読Ⅱ	①	
			選択	英米文学演習Ⅰ	①	
			選択	英米文学演習Ⅱ	①	
			選択	Study English Abroad	①	
			必修	プレ卒業研究演習	①	
			必修	卒業研究	①	
2	教授	槻木 裕	必修	スタディスキルズゼミⅠ	②	平成28年3月に定年を迎え、本人の希望により併設の短期大学へ異動となったため兼任教員となる。(28)
			必修	スタディスキルズゼミⅡ	②	
3	教授	リック・ブローダウェイ	必修	地域連携プロジェクトⅠ	①	平成28年3月に本人都合による退職により担当を辞退。(28)
			必修	地域連携プロジェクトⅡ	①	
			必修	English CommunicationⅠ	①	
			必修	English CommunicationⅡ	①	
			必修	English Presentation (Intermediate)Ⅰ	①	
			必修	English Presentation (Intermediate)Ⅱ	①	
			必修	World Culture through EnglishⅠ	①	
			必修	World Culture through EnglishⅡ	①	
			選択	English DiscussionⅠ	①	
			選択	English DiscussionⅡ	①	
			必修	プレ卒業研究演習	①	
			必修	卒業研究	①	
			選択	英米文化論Ⅰ	②	
			選択	英米文化論Ⅱ	②	
4	准教授	朝木 敏子	必修	スタディスキルズゼミⅠ	①	平成28年3月に定年を迎え退職となったため兼任教員として再雇用(28)
			必修	日本文学史Ⅰ	②	
			選択	古典文学講読Ⅰ	②	
			選択	古典文学講読Ⅱ	②	
			選択	古典文学演習	②	
			選択	古典文学特殊講義	①	
			必修	プレ卒業研究演習	①	
			必修	卒業研究	①	

5	講師	仲丸 英起	必修	キャリアデザインⅠ	②	平成28年3月に本人都合による退職により担当者を 変更(28)							
			必修	キャリアデザインⅡ	②								
			必修	史学概論	①								
			選択	西洋政治史	①								
			選択	西洋史概説Ⅰ	①								
			選択	西洋史概説Ⅱ	①								
			選択	西洋史文献講読Ⅰ	①								
			選択	西洋史文献講読Ⅱ	①								
			選択	西洋史演習	①								
			選択	西洋史特殊講義	①								
			必修	プレ卒業研究演習	①								
			必修	卒業研究	①								
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)								
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
5	人	必修	28	科目	必修	23	科目	必修	5	科目	必修	0	科目
		選択	20	科目	選択	15	科目	選択	5	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	48	科目	計	38	科目	計	10	科目	計	0	科目

(注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までには専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。

・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」

・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」

・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (A) + (C)					後任補充状況の集計 (B) + (D)									
辞任等した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)			
8	人	必修	46	科目	必修	41	科目	必修	5	科目	必修	0	科目	
		選択	35	科目	選択	28	科目	選択	7	科目	選択	0	科目	
		自由	1	科目	自由	1	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	82	科目	計	70	科目	計	14	科目	計	0	科目	

(注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した**全専任教員**について、**教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。**

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未就任となった3名のいずれの教員も平成26年4月の学科設置届出時においては就任する予定であったが、死亡退職や転出、自己都合による退職などやむを得ない事由により開設時に着任することができないものであった。

また、平成28年3月に辞退した5名についても、学科設置届出時においては継続する予定であったが、体調不良により併設の短期大学へ転出したことや、外国人が実家の都合により急遽母国へ帰国したこと、体調不良により定年後の再雇用を辞退するなど、やむを得ない事情と判断している。なお、平成29年3月に辞退した教員はいない。

平成28年度までは辞退した英語教員の後任が決まっていなかった等あったが、平成29年度には後任未定の科目はなく、すべて解消している。また、辞退した教員の必修科目はいずれも複数で対応していた科目であり、未開講科目は発生しておらず、学生の履修等に不都合は生じていない。また、教員が辞退することについて、昨年までは在学生に対しては学科毎のガイダンス等で学生への周知を図るとともに、学生便覧やシラバス等も適正な修正を行っており、学生が混乱することはなかった。

引き続き、適正な学科運営ができるよう努めていく。

(注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (2 7 年 4 月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (2 8 年 2 月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (2 9 年 2 月)	○人間健康学部健康栄養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年既定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見	教員組織編成の将来構想について、認可申請書における設置の趣旨に記載した通り、完成年度を迎える平成32年4月に主要な科目である公衆栄養学分野、給食経営管理分野、応用栄養学分野の教員を採用する計画としている。定年に関する規定を遵守することを第一に、いずれも教授又は准教授で、40歳代から50歳代を想定している。 現在は個人都合による急遽の退職が続き、欠員となった臨床栄養学、学校栄養教育、給食経営管理の各分野について、現在のAC教員審査で補充計画を進めている。採用教員は教授、准教授のみならず、30歳代の講師又は助教を想定しており、適切な年齢構成になるよう計画している。(29)
	○芸術学部芸術学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年既定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見	学科の教員組織構成について、年齢構成は60歳代の年齢の教員の比率がやや高いことが危惧されるが、新学科設置時には熟達の教員が欠かせないことから、このような配置を行った。芸術の学問領域においては、この熟達した教員が30～40歳代の若手教員に技術的な指導を施し、技術の伝承を行っていくことから、任期満了あるいは定年等により60歳代の教員が退職する平成32年4月には、定年に関する規定を遵守することを第一に、30～40歳代の准教授又は講師を採用することとし、実力ある教員を登用していきたい。また、年齢構成が偏らないような人員計画としていく予定である。

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	○経営情報学部経営情報学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年既定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見 設置時当初の年齢構成は60歳代6名、50歳代4名、40歳代4名、30歳代以下が2名となっており、いずれかの年代層に教員が偏ることのない構成とはなっていたが、比較的年齢構成は高いものであった。今後、任期満了あるいは定年等により60歳代の熟練教員が退職する平成32年4月には、定年に関する規定を遵守することを第一に、30～40歳代の准教授又は講師を採用することとし、実力ある教員を登用していきたい。また、年齢構成が偏らないような人員計画としていく予定である。(29)	
	○同一設置者が設置する既設学部等（金沢学院短期大学現代教養学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 平成28年4月に金沢学院短期大学ライフデザイン総合学科を改組して設置した現代教養学科については、学問領域を文学関係とすることにより、一般社会が求める確かな学びの基盤を持った学生を育成することを目指している。しかしながら、学生募集においてはこの新学科の特色が受験生にうまく浸透しなかったことがあり、初年度は入学定員100人に対し入学者37人（0.37倍）、今年度は入学者41人（0.41倍）となった。平成30年度に本学科の入学定員50人を振り替えて、新たに幼児教育学科の設置認可申請を行っており、本学科の入学定員は50人に変更することとしている。改組により短期大学の可能性を模索する一方で、今後も近隣の高校に対して本学科の学修内容の周知を図り、入学定員確保に向けた学生募集に努めていくこととしている。(29)	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<文学部 文学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該 当 な し	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

学長がリーダーシップを発揮できるよう学長が自らFD委員長を兼務し運営している。なお、大学FD委員会は学内組織「教育開発センター」の中のFDプロジェクトに位置付けられており、全学的な委員会として活動を行っている。

※関係規程等

○金沢学院大学ファカルティデベロップメント(FD)委員会規程

施 行 平成20年4月1日

(趣旨)

第1条 この規程は、金沢学院大学学則第24条の2並びに学校法人金沢学院評価委員会規程第8条の定めに基づき、金沢学院大学（以下「本学」という。）に設置するファカルティ・デベロップメント（FD）委員会（以下「委員会」という。）について、必要な事項を定めるものとする。

(任務)

第2条 委員会は、本学の教育研究活動の向上に関して検討を行い、その質的充実を図ることを目的として、次の事項を審議し、必要に応じて教学審議会の議に付する。

- (1) FD活動の企画立案
- (2) FD活動の実施計画の立案
- (3) FD活動の点検
- (4) FD活動に関する情報の収集と提供
- (5) その他、理事長・学長の諮問する事項

2 委員会の承認のもとに、年度ごとに必要に応じた分野の小委員会を設ける。なお、小委員会は、委員会に検討・実施事項を報告するものとする。

3 委員会が必要と認める場合、併設校である金沢学院短期大学FD委員会と連携することができる。

(構成)

第3条 委員会は、原則として、次の各号に定める委員を以て組織する。ただし、必要がある場合、第3項が規定する小委員会委員の中から若干名を加えることができる。

- (1) 委員長
- (2) 委員（小委員長） 若干名

2 前項の委員長は学長が任命し、委員は委員長が委嘱する。

3 委員は、原則5名以内の小委員会委員を以て各小委員会を組織する。

(任期)

第4条 委員の任期は1か年とする。ただし、再任を妨げない。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が招集し、議長となる。

2 委員長に事故あるときは、予め委員長が指名した委員がその職務を代行する。

3 委員会が必要と認めた場合は、委員以外の教職員の出席を求め、意見を聴取することができる。

(事務)

第6条 委員会に係る事務は、教務部が所掌する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成28年度のFD委員会は概ね3週間に1回、年間で14回開催した。学長が委員長となり、副学長及び各学部長をもって構成している。

c 委員会の審議事項等

教員の教育力の一層の向上を目指し、教育の実質化を図る目標に向かって議論を重ねている。また、分科会を設けて授業評価アンケートやピアレビューの評価結果を集計・分析を実施している。

② 実施状況

a 実施内容

- ①教員相互の授業参観及びピアレビュー
- ②授業評価アンケート
- ③FD研修会

b 実施方法

- ①平成28年6月27日～7月15日及び12月2日～12月22日の期間を設け、教員全員がピアレビューのために授業を公開し空き時間のある教員が参観して参観記録を提出した。
- ②前期及び後期の2回、授業後に10項目の質問と自由記載のアンケート調査を実施した。
- ③ピアレビューの参観記録及び授業評価アンケートシートの作成、その結果の検討について、教育開発センターと連携して授業改善等の議論を重ねた。
- ④FD研修会

平成28年度は以下の要領で3回実施した。

第1回

- 日時：平成28年6月10日（金） 17:10-17:50
- 議題： 1 障がいのある学生に対する教職員の対応について
2 てんかん発作時の救急措置等について
3 障害者差別解消法の対応について

第2回

- 日時：平成28年9月7日（水） 10:30-12:30
- 議題： 1 アクティブラーニングの実践報告
2 グループ討論「アクティブラーニングの実践」

第3回

- 日時：平成29年3月10日（金） 13:30-15:30
- 議題： 1 「本学アクティブラーニングの実践と今後の課題」
2 「平成29年度アクティブラーニング授業事例報告」
①「主体的な学習につながるつながる語学授業の実践」
②「学習を深める「問いかけ」とペア・グループワークの実践」
③「moodle利用による授業展開と自己学習の定着に向けて」
3 グループ討論「アクティブラーニング定着後の授業改善について」

c 開催状況（教員の参加状況含む）

○FD研修会

FD研修会の教員の参加状況について、学長がリーダーシップをもって全員参加を呼び掛けている。このため、やむを得ない出張や会議を除き、ほぼ全員の教員が出席している。

本学教員のピアレビュー及び授業アンケート結果の報告、及びその改善点の指摘、授業実践及び外部シンポジウム参加の報告を受け、授業運営に対する議論により、問題点・今後の方向性などを深めた。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

第1回FD研修会では、障がいのある学生、特にてんかん発作のある学生への対処の仕方について学んでいる。特に障がいを抱えた学生が授業に参加する際の指導方法や、授業や課題のあり方について十分な議論を行っている。

第2回の研修会は、昨年からの継続内容である「アクティブラーニング」について、小中高でのアクティブラーニングの義務化を受け、地元高校との連携を進めていることの報告に続き、5名の教員が各自の実践方法について報告している。引き続き「アクティブラーニングの実践」についてのグループディスカッションを行っており、大人数での座学授業での実践やフィールドワーク型の実践方法、カリキュラム外での実践などの報告をもとに、活発な討論・意見交換が行われた。

第3回の研修会は、前回に引き続き「アクティブラーニング」の実践についての報告を行っており、英語授業における実践や授業中の学習を深める「問いかけ」、moodleを利用した授業展開などの工夫をもとに意見交換を行い、グループディスカッションではアクティブラーニングが定着した後の授業のあり方について活発にディスカッションが行われた。

学生に前・後期各1回行った「授業評価アンケート」において、授業満足度については、学部毎に多少のばらつきはあるものの、年間平均で8割程度（5点満点中約4.1点）は満足しているとの結果となった。ただし、「あまり満足していない」との回答が2割程度あることから、今後も満足のいく授業運営となるよう、今後も様々な活動を検討していくこととしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期及び後期の2回実施した。授業後に10項目の質問と自由記載欄のあるマークシートを配付してアンケート調査を実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

早期対応が必要と思われることについては、その段階で個別的ではあるが対応を済ませてきている。

なお、報告書作成完了後は学内グループウェアに登録して全教員に公開しているが、教員への批判等の取り扱いについて慎重を期すため、学生への公開は今のところ予定していない。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設初年度にあたる平成27年度から、本件改組の趣旨を達成できるよう、学生が自らの興味、関心を足がかりとして、学修を進める経験をととして、主体的に問題を発見し、解を見出し、解決につなげていく力を修得できるように授業の工夫を行っている。また、1学科体制のもと、教員間・科目間の連携を容易にし、学生の主体的な学修を支える教育体制の充実を図っている。その結果として、学士力を担保しうる教育課程及び社会人・職業人として必要とされる力を備えた人材の育成を目指したい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成27年6月末 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開（平成27年6月末）

③ 認証評価を受ける計画

・平成26年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受け、評価の結果、本学は日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合しているとの認定を受けた。現在は第3期の評価基準の検討しており、平成30年度に自己点検評価を実施する計画としている。また、認証評価の受審については平成33年度を予定している。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (29年 8月 末日)